

西荻塾の取り組みとスケジュールリング

【高校3年・卒生】

| 期間 | 授業・講習等 | 授業外指導 | 進路指導関係 |
|---------------|--|---|---|
| 春期講習 4月・5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・理科・社会の開講 ・入試問題という意識付け。 ・英語の授業は志望系統別に編成。 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活や学校行事の合間でも、可処分時間を学習に回せるか。 ・夏期までに使い潰す問題集の選定 | <ul style="list-style-type: none"> ・5月に全国模試（マーク・記述） →志望校の第1次選定と自分の立ち位置を知る。 |
| 6月・7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・志望校との正しい距離感と見通し。 ・基礎構築の終了。 ・知識不足の解消。 | <ul style="list-style-type: none"> ・勉強に集中できる環境が整った者から、随時自習指導を本格化。 ・夏期までに何周もできるバイブル的問題集をさらに選定。 ・自習の仕方がまずい場合は、その指導。 | <ul style="list-style-type: none"> ・6月末～7月に、想定志望校の過去問を用いた実力テスト実施。 ・国立志望者はハイレベル模試等を受験。 ・7月に面談実施 |
| 夏期講習 夏期合宿 | <ul style="list-style-type: none"> ・理社を集中して学習できる期間。 ・知識系・基礎の抜け落ちをフォローする最後の期間 ・夏が終わった段階で、志望校を射程に入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自習室は毎日開室。 ・自分がどれだけ自習に耐えられるか。 ・授業時間のみが蕩々とすぎて、消化不良にならないこと、そして自分で決めた自習メニューがこなせるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月初旬に模試。 ・8月下旬から大学別模試スタート。 |
| 9月～11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・志望校別にクラス編成の見直し ・メリハリを付けた時間割へ。→必要なものを必要なものだけに選択改め。 | <ul style="list-style-type: none"> ・優先自習室利用制度スタート。 ・2週間～1ヶ月単位で自習のあり方を検証する時期。 ・「まとめ」に向けた準備。←これが重要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・9月上旬に記述模試。 ・志望校選定第2弾&面談開始。 ・赤本等の準備。 ・10月から11月は模試ラッシュ。短期目標として利用。 |
| 12月 冬期 | <ul style="list-style-type: none"> ・直前を見据えた追い込みの時期。 ・リスニング対策スタート(今年は、前倒しもあります) ・冬期講習で一通りの完結を。 | <ul style="list-style-type: none"> ・チーム西荻の総決算の時期。朝8時～夜10時までの戦い ・「まとめ」の総覧 | <ul style="list-style-type: none"> ・模試で直前期、何をすべきかを正確に把握。 |
| 1月(センター直前) | センター直前は、授業は基本的に実施せず。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめ」を信じる。 ・貪欲に点を取りに行く姿勢。 | <ul style="list-style-type: none"> ・センターがすべて、にならないようにバランスを整える。 |
| センター後 | <ul style="list-style-type: none"> ・完全志望校別授業編成。回数、内容等も各人の課題に合わせて。 | <ul style="list-style-type: none"> ・やはり「まとめ」を信じるし、最後のまとめのブラッシュアップ。 ・直前期だからこそそのメリハリ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・センター終了後、即時面談及び、臨戦態勢へ。 ・毎日、講師は受験生と一緒に戦います。 |

※例年の状況から大まかにスケジュールリングしたものです。受講者等によって若干の変更があります。